

## [宗さんと語ろう！宮城蔵王高原での暮らしの開催]

シンポジウム・パネルディスカッション

みんないらっしやい！二地域居住、半定住、定住のススメ

平成22年12月9日

進行／我妻 敦さん

皆さん、こんばんは。私は進行を務める蔵王町の我妻敦です。蔵王町役場のまちづくり推進課にいます。この協議会に参加するようになり、蔵王町を今まで以上に色々な眼で見ることができるようになりました。私が住んでいる所は、青麻山という山のすぐ麓です。毎朝6時に起きて犬の散歩をします。プリンという名前のチワワです。楽しく散歩をしていますと、山の麓から下界が眺められ、東の山々から昇る朝日が素晴らしく、毎日大変感銘しています。

本日はパネリストとして5名の方をご紹介します。皆さんには実際に他所から移り住んで、蔵王町の色々な魅力に触れておられますので、そういったものをご紹介いただきたいと思います。

今回は3つのテーマを設けています。1つは「私の蔵王での暮らし方」、2つ目は「蔵王を活かした私と仲間の活動」、そして3つ目は「蔵王へのいざない・メッセージ」。この3つをテーマに、皆さんからそれぞれお話を頂戴します。

#### ■私の蔵王での暮らし方

・蔵王町観光協会 小野寺 力雄さん

皆さん、おばんでございます。蔵王町観光協会の小野寺と申します。実は、私はまだ蔵王に来て1年半です。最近朝に蔵王連峰を見ますと、青麻山が堂々とし、その隣に屏風岳もあり、これを見ることでホッとしますか、今までのストレスが無くなって「今日もお客さんが来たら楽しく案内しよう」という気持ちになっています。

大体午前中は事務所におり、午後からは蔵王町の素晴らしい所を回ります。山はもちろんですが、平沢という所もまた素晴らしいです。特に4月下旬には、梅、桜、それから桃の花で桃源郷のような場所になりますので、そういう所を見て過ごしております。

最後は温泉にゆっくり入って楽しみます。蔵王をPRしようと頑張っておりますので、よろしく願います。

進行／我妻 敦さん

ありがとうございました。遠刈田温泉に神の湯という共同浴場があり、そのすぐ脇に足湯がありますが、そこに観光協会があります。ぜひお立ち寄りいただきたいと思います。

続いて、万風窯の豊原さんをお願いいたします。

・万風窯 豊原 絵美子さん

皆さん、こんばんは。豊原絵美子と申します。私は5歳の時に仙台市の隣の名取市から蔵王町に引っ越してきました。今26歳なので、大体20年くらい蔵王に住んでいます。小さい頃は蔵王にも雪が沢山降ったので、庭でスキートの練習や雪だるま作り、雪合戦。夏にはハイキング。本当に家の中でゲームをしたという記憶が無いくらい、外で遊んでいました。

現在は父が蔵王の万風窯を主宰する陶芸家なので、私もそこで陶芸の講師として働いています。今年も遠刈田小学校の皆さんや蔵王町地域の皆さん、仙台市や東京からも沢山の皆さんが陶芸を体験しに来られました。これからは修業を続けながら蔵王に住んで、微力ですが蔵王を盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

進行／我妻 敦さん

ありがとうございました。小学校などの講師ということで、大変ご苦労様です。実はこの会場にも豊原恵美子さんのお父様の陶芸家の豊原弘之さんがおりましたので、ご起立いただけますか。ありがとうございます。私が職場で使っているカップも豊原さんの作品です。

それでは続いて、蔵王山水苑の相澤さんをお願いいたします。

・蔵王山水苑 相澤 国弘さん

皆さん、こんばんは。蔵王には蔵王山水苑という40年前に開発された別荘地があります。私は在住は仙台の泉区で、蔵王に通うようになって大体4年くらいでしょうか。つまり外の人間なんですけど、蔵王山水苑には沢山の方に移り住んでいただいております。

「私の蔵王での暮らし方」というところですが、私は蔵王に住んでおりません。ただ、職場は第2の故郷と言いますか、朝起きて蔵王連峰を眺めながら車で45分くらいかけて来ています。普通は職場に近づくと元気が無くなってくるんです。でも私は職場に向かえば向かうほど蔵王が近くなってきますから、逆に元気になっていきます。今は首都圏から概ね530世帯くらいの方がいらっしやっていますが、これ程の方々が蔵王を選ばれる理由はこの辺りにあるのではないかなと思います。観光しても良い町ですが、住んでもとても元気がもらえます。最近の流行で言うとパワースポットでしょうか。そういう所に毎日通って四季を感じて、冬は雪景色がとても綺麗ですから、「しんしん」と雪が降る音を聞いて、都会では味わえない楽しみを毎日味わいながら仕事をしています。ですから、関東や仙台の方にもっと蔵王を知っていただいて、蔵王山水苑に住んでいただきたいなと思います。ありがとうございます。

進行/我妻 敦さん

蔵王町には別荘がだいたい4000区画、8箇所の別荘地があり、そのうちの半分くらいに建物が建っています。ですからまだ2000区画程残っていますので、ぜひ会場の皆さんに建てていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。

それでは続きまして、蔵王わくわくファームの金子さんをお願いいたします。

・蔵王わくわくファーム 金子 英里さん

蔵王わくわくファームの金子と申します。私は蔵王に住んでまだ1年くらいしか経っていないんですが、祖父が蔵王町の七日原という所に住んでおり、高原大根を作って大根祭りを11月一杯やらせていただいています。皆様にすごく「美味しい」と言っていただき、去年には農事組合法人を立ち上げました。

祖父は89歳で周りの方々も高齢ですが、野菜を作るのはすごく上手です。その方々と共に町おこしと言ったら何ですけれども、美味しい野菜を沢山の方に食べていただこうと思って作りました。

元々仙台に住んでいましたが、小さい頃から祖父母の家に行って、冬はスキー、夏は盆踊りなどを楽しんでおり、本当に水が美味しく空気が美味しく、私はどちらかと言うと都会よりも自然が大好きなので、自然と戯れることができ本当に楽しく過ごしています。

野菜作りは、色々と携わり、太陽と共に生活する喜びを感じながら、沢山の人に「美味しい」と言っていただける野菜を作ることを楽しみにしています。

進行/我妻 敦さん

ありがとうございました。七日原という地区で活動されていますが、ちょうどハートランドという牧草地があり、そのすぐ手前にあります。特に先程の高原大根ですが、11月の初めに大根狩りというイベントがあり、ビニール袋1枚1000円で詰め放題ができます。皆さんは最高で15本から20本くらいですか。

金子 英里さん/

入れる方は30本くらいです。

進行/我妻 敦さん

そうですか。大変好評のイベントで、毎年開催されており、その生産も金子さんが手掛けています。ありがとうございました。

会場から質問/

今年は終わったんですか。

金子 英里さん/

蔵王町としての開催は11月の6・7日で、私共は11月一杯やりましたが、もし宜しければまだ大根が残っ

ていますのでお待ちします。

進行／我妻 敦さん

まだ大丈夫ですので、ぜひ金子さんにご連絡してください。  
それでは佐々木さん、お願いします。

・アトリエ・デリス 佐々木 文彦さん

皆様、おぼんでございます。アトリエ・デリスの佐々木です。私も出身は仙台の連坊で、子供の頃は一高生から「連坊ガキ」と呼ばれながら育ちました。その後に縁があり1998年から蔵王におります。若い頃は本当に紅葉も見ずに、1年に1回ドライブするかどうかくらいの蔵王との関わりでしたが、たまたま仕事が見つかり、スーツケースを持って働きに行きました。

そこから蔵王との関わりが始まるんですが、私は料理が仕事ですので、地元の生産者の方々とお付き合いするようになって、非常に皆さんに親切にいただきました。そこで感じたのは、人間性がそのまま育てるものに表れてくると言いますか、やはり素晴らしい人が素晴らしい作物を育てるのです。

都会で働いていた頃は、FAX1枚送れば次の日には八百屋さんがきれいな野菜を持ってきて、それで美味しいものを作るのが料理人の仕事なのかなとずっと思っていました。蔵王に来たら確かに色も形も同じ野菜なんですけれども、朝に農家を回って頂いてくる野菜と、この間までFAXで届けてもらった野菜というのは全く違うんじゃないかと思えてきました。たとえば皆さんも家庭菜園をされたらわかると思いますが、夏のもぎたての胡瓜や完熟のトマトを食べると、全く違うものだと思いますよね。それを食べることによってきっと「命的に美味しいな」と感じると思ったんです。

また、これからの季節は蔵王町でも苺が採れるんですが、出荷の前にチャートがありまして「下7割が赤くて上が白いもの」、これを出荷しないとはねられるそうです。つまり出荷して皆さんのお口に入るまでには短くて3日、長いと5日位かかっている。皆さんも買ってからすぐに食べれば良いんですが、大体少し食べて冷蔵庫にしまう。大根に至っては私みたいにそのまま1本食べてしまうことはまず無いと思いますので、冷蔵庫の中で寝ていることが多いと思います。でも、抜きたての大根で味噌汁を作っただけで、全く違うものが出来上がると思うんですよ。

蔵王町は観光と農業生産地が一緒になっているという珍しい場所です。ぜひ皆さんも、移り住んでいただけるのに越したことはありませんけれども、まずは金子さんの直売所に大根が沢山ございますので、そこで「佐々木の言った事が本当なのかな」と、味噌汁にしたり少し塩をかけていただいたりして、「本当に美味しいものがあるんだな」ということを体験していただきたいなと思っています。

進行／我妻 敦さん

佐々木シェフ、ありがとうございました。佐々木シェフはテレビに出る回数が非常に多くて、その中でも蔵王町の食材を色々ご紹介いただいております、大変素晴らしい方だなと思っています。ありがとうございました。

## ■蔵王を活かした私と仲間の活動

進行／我妻 敦さん

「私の蔵王での暮らし方」というテーマで、皆さんの普段の生活を紹介していただきました。やはりそれぞれ暮らしていく中で、人と人との繋がりがとても大切だなという印象を受けました。

2つ目のテーマは、「蔵王を活かした私と仲間の活動」について紹介していただきます。それでは小野寺さん、お願いします。

・蔵王町観光協会 小野寺 力雄さん

私は観光協会におりますが、特に人との交流を大事にしたいと考えており、現在はグリーン・ツーリズムの事務局をやらせていただいています。グリーン・ツーリズムとは都会の方々が農村にいらっしやって、自然と戯れながら地元の方と交流されることですから、ぜひ蔵王町でそういう機会を作ろうと仲間と計画しています。

蔵王には素晴らしい自然がありますから、ゆったりストレスも解消できますし、さらにイチジク、梨、林檎、桃、柿などの食材も沢山あります。それらの農業体験もひとつの交流の場にしたいと考えていますので、農家の方、山の方、そして豊原さんのような陶芸の方も含めて打ち合わせをしています、その前に町の受け入れ態勢を整備しようということで進めています。

大体の目標としては4月頃にはそういった体験と交流ができるようなシステムを作りあげたいと考えています。蔵王はそのための環境が整っておりますので、多分素晴らしい交流ができるのではないかなと思います。

進行／我妻 敦さん

ありがとうございます。小野寺さんからグリーン・ツーリズムという言葉が出てきましたが、農業体験を通して交流するというので、ゆくゆくはそこから蔵王町に移り住んでいただき、あるいは二地域居住につながれば最高だなと思っています。その為にはシステムづくりが大切だということで、町への熱い思いを感じたところですが、これから一緒に進めていけたらと思います。

それでは、豊原さんからお願いします。

・万風窯 豊原 絵美子さん

20年間も住んでいますと、仲間と色々な活動に参加させていただくんですが、近年特に力を入れているのは「蔵王町国際交流会」です。観光協会とはまた違いますが、蔵王町の国際交流協会という地域の皆さんが主体となって活動している団体です。今年は宮城県内の外国人をのべ70名程を招いて蔵王のお釜を観光したり、芋煮会を催したり、ことりはうすのハイキングで蔵王の湧き水を外国の皆さんに飲んでいただいたり、蔵王の家にホームステイをしていただいたりしました。夏には韓国から高校生を招いてナッタ(※)という、日本でいう太鼓ですが、その演奏をしていただいて、蔵王からは蔵王太鼓さんをお招きして演奏会がございんホールで行われました。私自身も凄く刺激を受けましたが、蔵王の事を説明しなければいけないので、今は蔵王について一生懸命勉強しています。本当に世界に開かれた蔵王になることを願って、これからも活動を続けていきたいと思っています。

進行／我妻 敦さん

ありがとうございました。国際交流に力を入れている豊原さんですが、蔵王町に国際交流協会という会があり、その会長が豊原さんのお父様で、活発な活動をしておられます。先程の韓国との交流は今も続いており、さらに豊原さんは今年の夏にイギリスに行かれ、アジアだけでなくヨーロッパにまで足を伸ばして交流されました。「国際交流の蔵王」ということでも大いに期待しています。ありがとうございました。

続いて、相澤さんお願いします。

・蔵王山水苑 相澤 国弘さん

「蔵王町は田舎暮らし」というイメージをお持ちの方も沢山いらっしゃると思いますが、私共の開発地には、関東からお越しの方や、一線を退いた方などが沢山いらっしゃいます。中にはステンドグラスを作られている方や、笙をされている方、切り絵作家の方など、文化的な技術をお持ちの方も沢山いらっしゃるんです。そういう所で働いていますと、仙台や東京などより沢山の第一人者の方とお知り合いになる機会が凄く多いんです。蔵王町がこれから町おこしをして、色々な方に蔵王に注目していただく中で、そういった人材を積極的に活用していくのもとても大事な事なのかなと思っています。

別荘に住んでいますと、「そういうのが疲れたから来ているんだよ」というお話も聞かれますが、「来てみたものの、やっぱり活躍したいよね」という方も沢山いらっしゃいます。そういう方にもう少しスポットを当てて、元々地元に住んでおられた方と積極的に交流して、その交流がやがて日本や世界に発信されていって、「蔵王って素晴らしい所だよ」というところに発展すれば良いかなと思いつつ、日々生活しております。

進行／我妻 敦さん

ありがとうございました。相澤さんは別荘の管理をされていますので、個人名は出てきませんでしたが、本当に色々な方々に蔵王に住んでいただいています。先程のスタンドグラスの方や笙の先生はじめ、他の別荘地にも「鉄人28号」などを手掛けた漫画の先生や、大学の先生方など色々な方がいらっしゃいます。そしてそこから仙台や東京に通っておられる方も沢山おられますので、とにかく人材が豊富です。そういった方々との交流も含めて町おこしに繋がってきたいというお話でした。ありがとうございました。

それでは続いて、金子さんをお願いします。

・蔵王わくわくファーム 金子 英里さん

私達の活動としましては、立ち上げた時には親戚や家族で大根をはじめ白菜、キャベツ、胡瓜、人参、ネギなどの野菜を作り、直売所で小さく販売しておりました。中には蔵王にあまり来られない方もおられますので、仙台で「マルシェジャポン仙台」という一番町で開かれる露店にも参加しています。

特に今のシーズンですと大根、人参などがすごく「美味しい」と言って、何度も足を運んでいただいております。大きさが全然違うみたいで、今年は大根が不作で市場でも少し高値だったようですが、やはり私達は皆さんに美味しく食べていただきたいので、1本100円で売らせていただきました。

1袋1000円の大根狩りも開き、その中で祖父が契約している仙台市の互助会（※）の職員の方にも温泉付きのプランで来ていただいて、他のお客様と同じように1袋詰めていただきました。あとはやはり大根が美味しいので、切干大根や漬物にも加工して販売しています。全て手作りですので、どうしても賞味期限が長くできないので少数ですが、少しずつお客様にも浸透して、遠く仙台から足を運んで購入してくださる方もいらっしゃれば、マルシェジャポンに毎週来て購入してくださる方もいらっしゃいます。

進行/我妻 敦さん

ありがとうございました。新鮮な野菜は蔵王でという方もいらっしゃいますし、それが一番かと思いますが、無理なら仙台でということで、蔵王から運んだ野菜を消費してくださる方も沢山いらっしゃいます。本当に新鮮な「朝採り野菜」ですので、どうぞ皆さんにもお買い求めいただけたらと思います。ありがとうございました。

それでは、佐々木シェフをお願いします。

・アトリエ・デリス 佐々木 文彦さん

「人との繋がり」ですが、私は蔵王には働く目的でやって来まして、親戚も友達もいないところから起業していますが、もちろん料理の素材が良かったということもありますが、それ以上に良い素材を作る素敵な方々がいらっしゃったことが、私が蔵王に根をおろす1つのポイントだったわけです。

最初はそこから繋がりを作るのは非常に大変でしたが、1回打ち解けると色々な方を紹介していただいて、今は蔵王山麓の人達と「森の回廊」というグループを作っています。それはどんなものかと言いますと、例えば私は料理を作りますし、あとは農家の方とか、蒔蒵屋さんとか、採卵をされる方、酪農をされる方、染物屋さん、植木屋さんもいらっしゃいますね、その業を前面に出して蔵王に来ていただいたお客様達にお祭り形式で楽しんでもらおうという取り組みです。例えば私がオムレツの作り方をご紹介しますとしますと、酪農の方が牛を連れてきて、乳搾りをしてバターを作ってくださいます。

次はハーブ農家の方が畳6枚分くらいのハーブ畑を運んできて、会場で好きなハーブを説明しながら摘んでいただいて、次は採卵農家の方に卵の割り方も教えていただいて、混ぜ方も焼き方も説明して、それをご自分で食べていただくことをやっています。そういった色々な体験を通して1日たっぷり遊んでいただきますので、普段は大根などの農作物を介して地域と繋がっていますが、そこでは作り手の方々との交流ができて、お友達になって、そして農場を見に行くなどの派生効果が出てくるのです。

冬は冬で何かしなくてはいけないので、農家の大きなビニールハウスを借り、蔵王の食材を使って今度は私がシチューを作ります。題して「ハウスでシチュー」という名前です。某食品からは何も提供を頂いていませんが、ホワイトソースも全部手作りで、何種類かのシチューを用意し、ハウスの外は寒いですが中は心温まる交流の企画を2月頃にやっています。多分観光協会のホームページにもアップしていただくこととなりますので、ぜひ皆

さんに温かいシチューを召し上がりに来ていただければと思います。そこできっと新たな出会いもあるのかなと思いますので、どうぞいらしてください。

進行／我妻 敦さん

冬にはハウスでシチューですか。「OH! バンデス」でもぜひお願いしたいところですね。

#### ■蔵王へのいざない・メッセージ

進行／我妻 敦さん

最後のテーマは「蔵王へのいざない・メッセージ」ということで、また皆さんから一言ずつつお願いしたいと思います。それでは小野寺さんからお願いします。

##### ・蔵王町観光協会 小野寺 力雄さん

やはり蔵王は「癒しの町」だと思いますが、もう1つの良い所はやはり人間。先程佐々木シェフがおっしゃったように「人とホットなふれあいのできる蔵王の町」です。例えば蔵王町振興組合という所にはお店が十数軒ありまして、食べ歩きの手ケットやいがった揚げなどを組んで、おかみさん達がふれあいを大事にしながら町をご案内しています。そして私共の蔵王には食材以外にも、平沢の凄くロマンチックな歴史環境もありますから、ぜひ新しい村田や平沢にもおいでいただいて、住んでいただいではどうかと思います。蔵王に住んでまだ1年半ですが、「セカンドハウスを作りたいな」という気持ちで来ていますので、皆さんもぜひおいでください。お待ちしております。

進行／我妻 敦さん

ありがとうございました。ぜひセカンドハウスを。それでは豊原さん、お願いします。

##### ・万風窯 豊原 絵美子さん

いざないメッセージと言いますか、私の願いなんですけれども、もっと若い方にも蔵王に足を運んでいただきたいと思っています。蔵王は凄く自然が豊かで、シーズンスポーツ、ゴルフ、釣り、ハイキング、スキー、ボードができますので、ぜひお近くの大学生、お孫さんにお声掛けください。よろしくお願いします。

進行／我妻 敦さん

ありがとうございました。どうぞ皆さん蔵王においでくださいというメッセージでした。それでは相澤さん、お願いします。

##### ・蔵王山水苑 相澤 国弘さん

蔵王には温泉があります。温泉に入ると疲れが取れますし、活力になるんですね。蔵王というと温泉をイメージされる方が沢山いらっしゃると思いますので、ぜひ温泉に入りに来て、また温泉に入って生活するという暮らしをしていただきたいなと思います。

今日は二地域居住を勧めるということもあり、山水苑の宣伝ばかりで大変恐縮ですが、500のうち400世帯くらいが既に二地域居住をされています。いわゆる別荘暮らしですが、「定住には抵抗があるけれど二地域なら良いよ」という方が、月の半分、あるいは週末だけといった形で温泉に入り、また生活しに来られます。

仙台の方ですと、例えば週末の8時くらいに「温泉に入りたいな」と思ったら車で40分、50分走れば蔵王に来られます。これが那須や軽井沢になりますと1ヶ月くらい前から準備して、「那須に行くぞ、軽井沢に行くぞ」と心構えをするのではないかなと思います。蔵王なら思い立った時に温泉に入りに来られて、思い立った時に帰っていかれます。

逆に蔵王に住んでいても思い立った時に「買い物に行こうかな」とバスにぼんと1時間乗れば仙台まで来られる、または首都圏まで行ける、そういった恵まれた土地柄なんです。

また農地も蔵王の魅力ですから、食材が手に入るだけでなく田園風景を見て癒されることができます。つまり全てがそろっているのです。そういった蔵王に皆さんもぜひいらしてください。

進行／我妻 敦さん

ありがとうございました。車で40分、50分あれば蔵王に行けるということで、仙台からは高速バスも出ていまして、村田インターで降りてちょうど蔵王に入るあたりに割山という所がありますが、蔵王連峰の手前に田園が眺められるという素晴らしいロケーションですので、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。

それでは、金子さんをお願いいたします。

・蔵王わくわくファーム 金子 英里さん

私も住んで数年ですけれども、本当に環境が素晴らしくて水が凄く美味しいんですね。軽食レストランもやっておりますので、お客様にも「水が美味しいので、ポリタンクに入れてほしい」という方がいらっしゃいます。本当に水が美味しく空気も美味しく、住むには本当に素晴らしい所だなと思います。特に星空が本当に降ってきそうなくらいきれいです。

私が住んでいるのは凄山の中ですが、七日原なら光ファイバーが通っていますので、インターネットも常備されています。買い物に行けなくてもパソコンをクリックすればお買い物ができますので、私も豊原さんと同じように若い人達に蔵王に来ていただけるのを本当に待っております。わくわくファームも若い人に働いていただけるような環境を整えていこうと思います。本当に定住でも二地域居住でも素晴らしい所なので、ぜひお越しください。

進行／我妻 敦さん

ありがとうございました。若い方が働ける環境づくりに努力しておられるということですので、ぜひお願いしたいと思います。ありがとうございます。

それでは最後になりますが、佐々木シェフをお願いします。

・アトリエ・デリス 佐々木 文彦さん

ぜひ、若い方もそうでない方も蔵王にいらしてください。蔵王ギター工房の濃部さん、靴屋さんとかガラス屋さんとか、街道にお店を出していらっしゃる方が沢山おられます。もっと色々なお店が出来るとより楽しい蔵王になると思っていますので、もしも「食」という切り口で開業なりたいという方がいらっしゃいましたら、農家さんのご案内やアドバイスもできるかもしれませんし、仲間たちと一緒にできるかもしれません。

もう1つは、もしも別荘という形で女性の皆さん、男性ももちろんですけれども「山の中で寂しいわ」という方がおられたら、うちの料理教室にいらしてください。3年前に6人から始めて今は60人くらい来ていただいています。仙台から通われる方もいらっしゃって、元々知らない方達の集まりなんですけど、楽しく作って美味しく食べることを目的にやっております。そういう楽しみもありますので、ぜひ蔵王にいらしてください。

進行／我妻 敦さん)

佐々木さん、ありがとうございました。お店を出したい方は、ぜひ佐々木さんに紹介していただきたいと思っております。

だいぶん時間も過ぎてまいりましたが、5人の方から色々なお話を頂戴しました。もっともっとお話を頂戴したところでしたが、別の機会にお願いしたいと思います。ここでさとう宗幸さんから皆さんのお話を聞いた感想で結構ですので、何かメッセージをお願いしたいと思います。

・さとう宗幸さん

ステージの初めにお話しするべきだったんですけども、15年間「OH! バンデス」をやっている本当に皆さんにお世話になってばかりいまして、そのお礼を言うのを忘れていました。最近ですと僕のコーナーで万風窯の



窯元にお世話になりました。家内と一緒にご飯茶碗を使わせてもらっています。まずは皆さんにお世話になっているお礼を言っておかなければいけないなと思いつつ、失礼を申し上げました。

皆さんの話をずっと聞きながら、「このネタも使えるな、あのネタも使えるな」とざっと4つ、5つくらい把握しましたので、今日は少し後悔しているのは番組のディレクターを1人、2人連れてくれば良かったなど。恐らく蔵王町でのネタが幾つか拾えたはずだなと思いつつ、でもちゃんとインプットしてありますので、後日ディレクター達にお話して、またお世話になろうかなと思っております。

40数年来蔵王町と関わりを持たせてもらっておりまして、本当にそれぞれの人のライフスタイルを満たしてくれる町だなと実感しております。あとは色々皆さんからお話を伺いましたことが、これから良い形で発展していきますことを心からお祈り申し上げます。今日は本当にありがとうございました。

#### ■我妻さん、関口社長、大石部長からのコメント

##### 進行/我妻 敦さん

ここでシンポジウムは終わりますが、私からも一言お話しさせていただきます。5名のパネリストのお話を聞いていただいて、色々な感想をお持ちだと思いますが、自然、それから食材、観光資源、そして先程は温泉の話も出ましたが、皆さんも1度は体験されたり、同じ思いに浸っていただいたりした所があるのではないかと思っております。

蔵王町は非常に自然や食材に恵まれた、そして人に恵まれたというのが1番重要ではないかと思いますが、それもこれも会場に来ていただいている皆さんや、ご登場いただいたパネリストの皆さんなどの人と人との繋がりによって蔵王の魅力が発信され、定住や二地域居住に繋がる交流のきっかけになるのではないかと感じております。蔵王町では「観光」と「農業」という2つのキャッチフレーズで町づくりを進めております。昨年からは環境宣言の町ということでも取り組んでおります。この定住・二地域居住につきましては「蔵王と仙台」、そして「蔵王と東京」という話でしたが、最近はアジアにも目を向け、「蔵王と香港」という形でも進めているところです。蔵王町にもホテルや旅館が数軒ありますが、香港からの進出も頂いております。さらにこの12月から香港～仙台便の運行が開始されましたので、そういった意味でも国外、特にアジアとの繋がりに力を入れていきたいと思っております。

そういった活動をしている中で、本日は香港からおいでの方がいらっしゃいます。今日はその香港のメリットリンクという会社の関口社長にも、夕方のドラゴン便で会場に足を運んでいただきました。また連携していただいております、あさひな農協の大石さんにもおいでいただきましたので、どうぞ一言ずつコメントを頂きたいと思っております。大変急で恐縮でございますが、ひとつ宜しくお願いいたします。

##### ・メリットリンク 関口 嘉幸社長

ただいまご紹介いただきました、メリットリンク・リミテッドの関口と申します。突然のご指名なもので何もご挨拶の内容を考えていませんでしたが、今のパネリストの皆さんの話をお聞きして、「癒しの町・蔵王」。お水が美味しくて星が降ってきてしまう、素晴らしいです。「喧騒の町・香港」から来た私としましては「本当にそんな所に住みたいな」と、特に今回のテーマである二地域居住のようなことが、香港だけでなく幅広いアジア、中国も富裕層の方が増えていますし、直行便も飛ぶようになりましたので、ぜひ広がっていけば良いなと思えます。ただ今日の直行便には残念ながら2人しか乗っていませんでしたので、直行便が無くならないように香港にもぜひお出かけいただきたいなと思っております。

##### ・あさひな農協 大石部長

皆さん、おばんでございます。JA あさひなの大石と申します。仙台より少し北の方にあります大和町、それから大衡村、大郷町、富谷町の3町1村で活動している農協でございます。色々蔵王のお話をお聞きしましたが、わが農協もブルーベリーの栽培では蔵王町の生産者の方々と交流をさせていただきながら、技術の向上に努めているところです。あさひな農協のモットーは「信頼・共生・奉仕」で、とにかく農業が地元で根づく、そして発展することが大切だなと感じております。そういう部分では蔵王町と一緒に、色々な一次産業分野でより

良い形で連携できれば幸いです。ありがとうございました。

進行／我妻 敦さん

関口社長、大石さん、ありがとうございました。今後ともどうぞ連携をお願いしたいと思っております。

進めてまいりましたシンポジウムですが、そろそろ時間となったようでございます。「みんないらっしやい！二地域居住・半定住・定住のススメ」ということで本日は5人のパネリストの皆さん、そしてさとう宗幸さんにご協力いただきました。ありがとうございました。蔵王町の魅力が伝わったのでしょうか。もし足りなければ蔵王においでなり、魅力を実感していただきたいと思っております。

以上でシンポジウムを終わりにしたいと思います。皆さん、どうもありがとうございました。